



《野辺》1967年

笠岡市立竹喬美術館名品展

うつりゆく自然を描く

# 小野竹喬の世界

2024年 10月4日(金)～11月17日(日)

会場 大分市美術館 企画展示室

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 10月15日(火)、21日(月)、28日(月)、11月11日(月)

観覧料 一般1,000円(800円)／高校生・大学生700円(500円)／中学生以下無料

※( )内は前売り、20人以上の団体料金です。※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。

※「大分市美術館年間パスポート」が利用できます。※上記観覧料でコレクション展も併せて観覧できます。

【前売券】販売期間：2024年9月1日(日)～10月3日(木)

【前売券販売所】大分市美術館、大分合同新聞社本社受付、同プレスセンター、OBS大分放送地域事業部、トキハ会館  
チケットぴあ[Pコード:687-060] ローソンチケット[Lコード:83626]

【きもの割】会期中、きもでこ来館のお客様は団体割引料金となります。特別展受付でスタッフにお声かけください。

主催 / 大分市美術館、大分合同新聞社、OBS大分放送、小野竹喬展実行委員会

後援 / エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレビコム

特別協力 / 笠岡市立竹喬美術館

企画協力 / 青幻舎プロモーション

会期中、一部の作品は展示替を行います。展示期間：[前期]10月4日(金)～10月14日(月)／[後期]10月16日(水)～11月17日(日)



大分市美術館  
OITA ART MUSEUM

〒870-0835 大分市大字上野865番地  
Tel 097-554-5800/Fax 097-554-5811



大分市美術館  
ホームページ

笠岡市立竹喬美術館名品展

# うつりゆく自然を描く 小野竹喬の世界

小野竹喬(1889-1979)は岡山県笠岡市出身の日本画家です。1903(明治36)年、14歳の時京都の竹内栖鳳に師事したのち、1979(昭和54)年に89歳で亡くなるまでの75年間、日本の自然を描き続けました。その制作姿勢は一貫しており、季節の移り変わりのなかで、日常にふと目にするささやかな自然の表情を、親密な視線で素直に捉え、鮮やかにそして明快に表現しています。特に晩冬から早春にかけての大地の装いや樹木の芽吹き、その萌しを「自然の香り」と称して、清澄に捉えています。また戦後の作品においては、夕焼けの茜空を題材として、時々刻々と変化する空や雲の様相を、心温まる色彩で柔和に表現しました。生涯にわたるさまざまな功績により、1976(昭和51)年には文化勲章を受章しています。

本展では、竹喬の故郷にある笠岡市立竹喬美術館が所蔵する名品、日本画約70点、素描約20点等により、自然表現の精華を紹介します。



《波切村》1918年 重要文化財 前期展示:10月4日(金)~14日(月)



《樹間の茜》1974年



《海》1971年



《島二作》(冬の丘・早春)1916年



《あかあかと日は難面もあきの風(習作)》1976年



素描《田圃》1975年



素描《花見団子》1948年

※特記のない作品は全期間展示

## 講演会 1

日時：10月4日(金)午後1時30分~3時  
場所：ハイビジョンホール  
講師：上園四郎氏  
(笠岡市立竹喬美術館元館長)  
演題：小野竹喬絵画の魅力  
定員：80人  
参加費：無料 参加方法：当日先着順

## 講演会 2

日時：11月3日(日)午後1時30分~3時  
場所：ハイビジョンホール  
講師：菅章氏  
(大分市美術館前館長)  
演題：小野竹喬~  
作風における影響と展開の秘密  
定員：80人  
参加費：無料 参加方法：当日先着順

## 展示解説

日時：会期中毎週水曜日  
午後2時~2時30分  
場所：企画展示室  
解説：美術館職員  
備考：当日有効な特別展  
観覧券が必要です

## 【交通案内】

### バス

JR大分駅上野の森口(南口)バスのりばから  
中心市街地循環バス「大分きゃんバス」・  
「大分市美術館方面行」約9分

### タクシー

JR大分駅上野の森口(南口)から約5分

### 車

東九州自動車道/大分ICから約10分



〒870-0835 大分市大字上野865番地  
Tel 097-554-5800/Fax 097-554-5811



大分市美術館  
ホームページ